

これがオススメ! 読み聞かせ本

中学年

指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさん
の本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さ
て実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読
んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせが
できるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

「転校生の始^{はじ}めは、教室で不思議な「びりっかすさん」を見ます。「びりっかすさん」は、クラスで成績がびりりの子どもにしか見ることができず、見た子どもたちは心で話ができるようになりま^す。クラス全員に見え、運動会の全員リレーでクラスが一位になったとき、「びりっかすさん」はいなくなりました。

読み続けているとき、ある女の子は「私にもびりっかすさん見えるかなあ」とつぶやきました。「自分は勉強ができない」というつらさを、「びりっかすさん」を借りて表現したんだなあと感じました。

子どもたちの生活に大きくかわる授業・テスト・成績に正面から向き合うことになった本です。

学年が上がるとだんだん読み聞かせができにくくなります。でも、ほんの少し時間を作って読み聞かせてみると、普段の生活を振り返ることもできるし、ほっとした気持ちになります。

読み聞かせた本は、子どもたちがじゃんけんして順番を決め、しおりに名前を書きさえすれば読めるようにしておきます。もちろんこの本もたくさんの子がじゃんけんに参加し、次々と読まれた一冊です。



『びりっかすの神様』

岡田淳／作・絵
(偕成社)